

2016－11 月評価に係る変更点

国内雌牛評価結果の表示方法を変更しました。

近年、「乳用牛への黒毛和種の交配率」の上昇等により将来の後継牛不足が懸念され、遺伝的能力の高い優良後継牛の確保が必要となっています。そこで、遺伝的能力上位牛の把握をより効率的にするために、家畜改良センターのホームページに公表する国内雌牛の遺伝的能力評価情報の充実を図り、以下の国内雌牛評価結果の表示方法について以下の変更を行いました。

変更点

① 公表頭数を拡大

「牛群検定参加牛のうち総合指数上位 1000 位」および「牛群検定参加牛のうち総合指数上位 1000 位相当」を「牛群検定参加牛のうち総合指数上位 1500 位」および「牛群検定参加牛のうち総合指数上位 1500 位相当」に、「牛群検定参加牛のうち産乳成分上位 200 位（ただし、総合指数が計算されないもの）」および「牛群検定参加牛のうち産乳成分上位 200 位相当（ただし、総合指数が計算されないもの）」について「牛群検定参加牛のうち産乳成分上位 5000 位」および「牛群検定参加牛のうち産乳成分上位 5000 位相当」にそれぞれ変更。

② 情報を追加

体型形質（線形）の SBV*、遺伝能力曲線の係数、父牛の情報（名号、登録番号、略号）を新たに付与。

*なお、体型形質（線形）の SBV は産乳成分上位 5000 位（相当）には付与しません。

各ファイルの詳細なフォーマットは家畜改良センターホームページをご覧ください。